



外国出張報告書

平成 25 年 12 月 26 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 25 年 10～12 月
3. 出張目的 土壌硬化剤の原料収集、加工、試験、現況流況調査及び・JRA 協議、ため池
現況調査：B

4. 成果の概要

低コスト水利施設は、土壌硬化材の開発を行っている。土壌硬化材は、硬化材を直接水路に施工することに困難が予想されるため、ブロックを作成し、水路に施工することを検討している。現地で容易に入手できるブロックの原料であるラテライトは水に弱い
ため、物理的改良が必要である。このため今までの試験で開発した酸化カルシウムや草木灰を活用した改良を検討している。試験の結果、パーム灰を混ぜると改良効果が現れることがわかった。

稲作普及促進整備調査ではため池の現状と水管理の現状および課題を確認するために、ガーナ国（北部州、アッパーイースト州とアシャンティ州）の調査を行った。またため池の蒸発散量を推定するため、ため池湖面に気温、湿度、水温を計測する計測機器を設置した。さらにため池の周辺に気象観測装置の設置を行った。